

食物アレルギー緊急対応マニュアル

異変に気がいたら子供から目を離さない

迷ったらエピペンを打つ！
ただちに119番通報！

助けを呼び、人を集める

下の症状から重症度を判定し、速やかに行動する

全身の症状 ☐ ぐったり ☐ 意識もうろう ☐ 尿や便をもらす ☐ 脈が触れにくいまたは不規則 ☐ 唇や爪が青白い	少なくとも5分ごとに、繰り返し症状を観察 経過・内服・エピペン使用の時刻を記録	
呼吸器の症状 ☐ のどや胸が締め付けられる ☐ 声がかすれる ☐ 犬が吠えるような咳 ☐ 息がしにくい ☐ 持続する強いせき込み ☐ ゼーゼーする呼吸	☐ 数回の軽い咳	
消化器の症状 ☐ 持続する強いお腹の痛み（がまんできない痛み） ☐ 繰り返し嘔吐 ☐ 繰り返し吐き続ける	☐ 中等度のお腹の痛み ☐ 1～2回の嘔吐 ☐ 1～2回の下痢	☐ 軽いお腹の痛み（がまんできる） ☐ 吐き気
目、口、鼻、顔面の症状	☐ 顔全体の腫れ ☐ まぶたの腫れ	☐ 目のかゆみ、充血 ☐ 口の中の違和感、唇の腫れ ☐ くしゃみ、鼻水、鼻づまり
皮膚の症状	☐ 強いかゆみ ☐ 全身に広がるじんましん ☐ 全身が真っ赤	☐ 軽度のかゆみ ☐ 数個のじんましん ☐ 部分的な赤み

上記の症状が
1つでもあてはまる場合

緊急

上記の症状が
1つでもあてはまる場合

受診

上記の症状が
1つでもあてはまる場合

注意

- ①エピペンを使用！
- ②119番通報！
→緊急時連絡先医療機関に連絡
→保護者に連絡
- ③その場で安静を保つ
→立たせたり、歩かせたりしない
- ④その場で救急隊を待つ
- ⑤可能なら内服薬を飲ませる

※安静を保つ体位
 ◇ぐったり、意識もうろうの場合、仰向けにして足を15～30cm高くする
 ◇吐き気・嘔吐がある場合は横向きに
 ◇呼吸が苦しく仰向けになれない場合上半身を起こし、後ろに寄りかからせる

- ①内服薬を飲ませ、エピペンを準備
- ②速やかに医療機関を受診
救急車の要請も考慮
- ③急速に進行する場合→「緊急」の対応
- ④座位にして会話をしながら観察すると、急変に対する判断・対応がしやすい

- ①内服薬を飲ませる
- ②急速に進行する又は悪化が予想される場合→受診・緊急の対応
- ③少なくとも1時間は観察完全によくなるまで目を離さない